

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年10月16日 (2014.10.16)

【公表番号】特表2012-520249(P2012-520249A)

【公表日】平成24年9月6日 (2012.9.6)

【年通号数】公開・登録公報2012-035

【出願番号】特願2011-553352(P2011-553352)

【国際特許分類】

C 0 7 D 215/54 (2006.01)

C 0 7 D 409/12 (2006.01)

C 0 7 D 215/56 (2006.01)

C 0 7 D 401/12 (2006.01)

C 0 7 D 417/12 (2006.01)

C 0 7 D 413/12 (2006.01)

C 0 7 D 405/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/4709 (2006.01)

A 6 1 K 31/47 (2006.01)

A 6 1 K 31/4706 (2006.01)

A 6 1 K 31/5377 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 25/08 (2006.01)

A 6 1 P 13/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/22 (2006.01)

A 6 1 P 25/30 (2006.01)

A 6 1 P 25/18 (2006.01)

A 6 1 P 25/06 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 215/54

C 0 7 D 409/12 C S P

C 0 7 D 215/56

C 0 7 D 401/12

C 0 7 D 417/12

C 0 7 D 413/12

C 0 7 D 405/12

A 6 1 K 31/4709

A 6 1 K 31/47

A 6 1 K 31/4706

A 6 1 K 31/5377

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 25/08

A 6 1 P 13/02

A 6 1 P 25/22

A 6 1 P 25/30

A 6 1 P 25/18

A 6 1 P 25/06

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 21/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

## 【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年9月1日(2014.9.1)

## 【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0006

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0006】

さらに、KCNQ2/3K<sup>+</sup>チャンネルは、多数の他の疾患、例えば偏頭痛（米国特許第2002/0128277号明細書）、認識疾患（Gribkoff著, Expert Opin Ther Targets 2003; 7(6): 737-748）、不安状態（Korsgaard et al.著, J Pharmacol Exp Ther. 2005, 14(1): 282-92）、てんかん（Wickenden et al.著, Expert Opin Ther Pat 2004, 14(4): 457-469; Gribkoff著, Expert Opin Ther Targets 2008, 12(5): 565-81; Miceli et al.著, Curr Opin Pharmacol 2008, 8(1): 65-74）、尿失禁（Streng et al.著, J Urol 2004; 172: 2054-2058）、依存症（Hansen et al.著, Eur J Pharmacol 2007, 570(1-3): 77-88）、躁病/双極性障害（Dencker et al.著, Epilepsy Behav 2008, 12(1): 49-53）、筋失調に関連する運動障害（Richter et al.著, Br J Pharmacol 2006, 149(6): 747-53）の治療のための適当な対象である。

## 【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0084

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0084】

有利に、本発明による医薬は、痛み、有利に急性痛、慢性痛、神経障害性痛、筋肉性痛及び炎症性痛からなる群から選択される痛み；てんかん、尿失禁、不安状態、依存症、躁病、双極性障害、偏頭痛、認識疾患、筋失調と関連する運動障害及び/又は尿失禁からなる群から選択される1種又は数種の疾患の治療のために適している。

## 【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0088

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0088】

痛み、有利に急性痛、慢性痛、神経障害性痛、筋肉性痛及び炎症性痛から選択される痛み；てんかん、尿失禁、不安状態、依存症、躁病、双極性障害、偏頭痛、認識障害、筋失調と関連する運動障害及び/又は尿失禁を治療するための医薬を製造するための、少なくとも1種の本発明による置換された2-メルカプトキノリン-3-カルボキサミド並びに場合により1種若しくは数種の製剤学的に許容された助剤の使用が有利である。

## 【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 9 2

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 9 2 】

本発明の他の主題は、痛み、有利に急性痛、慢性痛、神経障害性痛、筋肉性痛及び炎症性痛から選択される痛み；てんかん、尿失禁、不安状態、依存症、躁病、双極性障害、偏頭痛、認識障害、筋失調と関連する運動障害及び／又は尿失禁を治療するための、少なくとも１種の本発明による置換された２－メルカプトキノリン－３－カルボキサミド並びに場合により１種若しくは数種の製剤学的に許容された助剤である。

【誤訳訂正５】

【訂正対象書類名】 特許請求の範囲

【訂正対象項目名】 請求項 １ ５

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【請求項 １ ５】

痛み、てんかん、尿失禁、不安状態、依存症、躁病、双極性障害、偏頭痛、認識障害、筋失調と関連する運動障害及び／又は尿失禁の治療のための医薬を製造するための、それぞれ個々の立体異性体又はその混合物、遊離化合物及び／又はその生理学的に許容される塩の形態での請求項 １ から １ ３ のいずれか一項に記載の少なくとも１種の置換されたカルボキサミド又は N - ベンジル - ２ - ( ３ - クロロ - ２ - ヒドロキシプロピルチオ ) - ４ - ( ２ , ４ - ジクロロフェニル ) キノリン - ３ - カルボキサミドの化合物の使用。